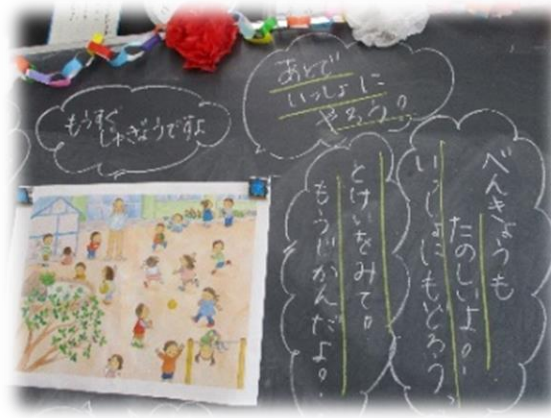


4月の重点教育目標『心豊かで思いやりのある子』

【言われてうれしい言葉を使ってみよう！】

国語科の「なんていおうかな」や道徳科の「じゅぎょうがはじまりますよ」の学習で、学校生活の様々な場面で、場面にあった言葉を考えて、実践しました。「一緒に○○しよう。」「手伝おうか。」「入れて。」「いいよ。」など、言われてうれしい言葉をたくさん考えることができました。また、生活科の「学校探検」の学習では、お世話になった2年生に「ありがとう。」と伝えることができました。

今後の学校生活の中で、今回学習した言葉をたくさん使っていけると良いなと思います。



2年生

4月の重点教育目標『心豊かで思いやりのある子』

【1年生となかよくするために】

1年生が入学し、2年生は歓迎のプレゼントとして、学校案内を行いました。まず、学校で1年生が使う場所を考え、出し合いました。“学校図書館は、本がたくさんある。”“給食室は、おいしい給食を、たくさん作っている。”など施設や使い方を整理しました。この1年間で、すっかり第一小学校の一員になり、“ぼく・わたしたちの学校”として素敵なところを見つけることができるようになりました。

その後、1年生にどこを紹介するかを相談し、どんな説明をするかを考えました。「分かりやすく説明する。」「分かりやすくと言うのは、1年生にも分かる短い言葉で説明すること。」などの具体的に例を出しながら、説明を考えました。2年生としての自覚をもち、1年生への思いやりを大切に学習しています。



4月の重点教育目標 『心豊かで思いやりのある子』

【仲間と共に、良いあいさつを】

4月は新しい仲間や新しい担任との出会いの季節です。元気な挨拶や返事はその新しい関係の中で、人と人の心をつなぎます。道徳科の授業で「あいさつをすると」という教材を通して、挨拶をする良さや挨拶をしたときの自分の気持ちについて考えました。授業後には「挨拶カード」に取り組みました。毎日、何気なく交わしている「おはようございます」「さようなら」「よろしくお願ひします」の挨拶も、意識して取り組むことで、自分の気持ちが伝わり、新しい仲間との繋がりも見えてきました。道徳科の授業の中でも、自分とは違う思いや考えをもっていることを感じることができました。何より、相手を思いやる気持ちを育てる上で、相手の気持ちを想像して、理解しようとすることはとても大切なことです。

今回紹介した取り組みも「心豊かで思いやりのある子」を育てるための活動の一部です。これからも、中学年の仲間入りをした3年生が、活躍できるよう指導を続けていきたいと思ひます。



4月の重点教育目標『心豊かで思いやりのある子』

【 1年生に向けてメダルを作ろう 】

4年生は1年生に向けて名前入りのメダルをプレゼントすることになりました。メダルを作る前に、自分たちが入学したときの気持ちを思い出してみました。「はじめての小学校にドキドキした」「友だちができるか不安だった」「勉強が楽しみだった」など1年生のときの気持ちを思い返しました。1年生のために、「学校生活楽しんでね」「仲良くしようね」「勉強頑張っってね」という思いを込めてプレゼントを作ろうと話合いました。

その後1年生に「入学おめでとう」という気持ちを込めてメダル作りをしました。紙皿に切れ目を入れて、花の形をしたメダルです。周りの花びらの部分の色付けを一人一人しっかりと考え、丁寧に塗っていました。「何色が好きかな？」と相手が喜んでくれるようにという気持ちをもって取り組んでいる姿が素敵でした。

完成したメダルをそれぞれのクラスで1年生のみんなに渡しました。とても喜んでくれて、みんなの気持ちが1年生に伝わったことと思います。



5年生

4月の重点教育目標『心豊かで思いやりのある子』

【みんなが頼り合える学年・学級に】

作業中や学習中には、戸惑ったり自分の考えに不安になったりすることがあります。そんな時は、すすんで友達にアドバイスを求めたり、また声を掛け合って友達と考えを交流し合ったりすることで、戸惑いや不安や分からないことが少しずつ解決していきます。5年生になり絆が更に深まってきた様子が見られます。頼り合える友達の存在は、みんなの「わかった！」や「できた！」や「なるほど！」を増やしていってくれます。



6年生

4月の重点教育目標『心豊かで思いやりのある子』

【1年生が安心して過ごせるように】

入学式の準備から始まった1年生のお手伝いを継続して行っています。6年生としてたくさん考えて行動することができています。朝の準備では「ここに入れるんだよ。」とロッカーや靴箱に案内したり、困っていることがないか聞いて回ったりする様子がありました。また、朝の準備だけでなく、給食の片付けや清掃に自分からすすんで取り組んでいます。

お手伝いが終わった後には、1年生から「ありがとうございました。」とお礼の言葉がおくれました。これからも、人の気持ちに寄り添った行動ができるようになってほしいと思います。



4月の重点教育目標 『心豊かで思いやりのある子』

【“ちょっとがんばる” とできる目標をもって】

あおぞら学級では、毎学期の始めに、自分で学習と生活のめあてを決めます。自分のめあてを決めさせる際には、「ちょっとがんばるとできるめあてを考えよう」と子どもたちには伝えています。ハードルが高すぎて、自分一人では達成できなかつたり、できるまで時間がかかってしまったりする目標ではなく、毎日ちょっとがんばることの積み重ねにより達成できる目標にするためです。今年度も『自分でできた』という経験をさせ、自己肯定感や向上心を高めていきたいと思えます。

これまでのあおぞら学級だよりでお伝えしたように、4月は新しい生活班での話し合い活動や、1年生ようこそ会など、友達と関わりながら楽しい学習に取り組み、みんなのめあてや自分のめあてを意識しながら、“ちょっとがんばる” 仲間作りを行いました。

25日（火）に参加した消防写生会の様子をお伝えします。

1年生にとっては初めての写生会でしたが、間近に見る消防車に、「すごい」「大きい」などの声を上げながら、頑張って絵を完成させました。2年生以上の子どもたちは昨年のことを思い出しながら、「もっと上手に描きたい」「よく見て細かいところもそっくりに描こう」などの声が聞こえて、成長を感じられる時間となりました。また、学年を問わず、友達の絵に「上手だね」と声を掛ける等、認め合う姿が見られました。

